

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

「TORYOプロジェクト」

～地域の文化を学び、地域の環境を守り、地域とともに活動する東陵中の実践～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

1. Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまでも地域連携推進研究校として地域に密着した活動を行ってきた。学校の文化祭に地域の方を講師やボランティアとして招いたり、多く子どもたちが地域の行事に参加できるように呼びかけたりした。そこで、さらに地域とともに生きる子どもを育成し、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育（ESD）を推進しようと考えた。

平成18年から、文化祭の「体験講座」として『手筒花火づくり』や『和太鼓』の講座を開催し、地域の方を講師として招いている。さらに、小鷹野まつり振興会の協力を得て、文化祭のエンディングに手筒花火を行ってきた。盆踊りの時期になると、地域の人達が集まる中、太鼓を叩いたり踊ったりするなど、多くの生徒が意欲的に参加している。また、校区防災訓練では「市民総ぐるみの防災訓練」の一環として、豊橋市消防本部、校区住民等の参加・協力のもとに、総合的な防災訓練を実施している。

このことを「持続可能な開発のための教育」（ESD）の推進に結びつけていくために、教育課程そのものを検討し、義務教育9年間を見通した学校行事や総合的な学習の時間などを企画して、実践していくこととした。この実践により、将来にわたって地域のよさに気づき、地域の誇りと地域への愛着を育んでいくことができると考えている。

2. Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDを、「環境と安全」の観点から、自分たちが住む町や文化や人のつながりについて学習を深め、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であると捉えている。東陵中学校は創立16周年を終え、今まで「地域に密着した学校」を目指し、地域一体となって取り組んできている。そこで、地域に根づいた文化の継承・伝承を図っていくことも目的のひとつとしたい。

そのために本校では、以下の4つの活動で次のような目標を掲げる。

(1) 伝統的な文化に触れる活動

- ・ 文化祭における筆づくりや太鼓等の体験活動
- ・ 盆踊りや地域の祭りに積極的に参加する
- ・ 地域の文化に関すること（古墳など）を調べ、発表する

それぞれの地区で催される祭などの行事や地域に点在する古墳にふれることで、地域を見つめなおすきっかけとする

(2) 環境を意識した地域の活動に積極的に参加する活動

- ・ 朝倉川クリーン活動
- ・ 勤労体験学習（資源回収）

- ・ 園芸部が中心となって活動する「花いっぱい運動」
地域にある公園の清掃活動や地域の方の協力を得ながら資源回収をすることで、環境について考えさせ、思いやりの心を育てる。
- (3) 安全を意識した地域の活動に積極的に参加する活動
 - ・ 校区防災訓練
地域とかかわりながら、地域を守るのは自分たちであるという自覚を高め、地域に貢献する生徒を育成する。
- (4) 行事等を関連づけた活動
 - ・ 体育祭、文化祭、授業参観（年間10回）
保護者、地域住民と一体になって活動することにより、地域の誇りと愛着を育むことができるようにする。

3. Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校では、前述のとおりESDへの取り組みは「環境と安全」の観点から学習を進めていく。その学習を深めていくことで、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であると捉え、その資質や能力の基礎の部分育てることであると考えている。

東陵中校区には、多くの古墳と歴史がある。古くは穂の国といわれたこの地は、東に弓張山系、西に豊川、南に朝倉川、北に神田川（三輪川）をひかえ海も近い扇状の台地である。牛川原人と先人の残した相生塚古墳、乗小路古墳群などがあり、牛川原人（人骨）は牛川石灰鉱山で、10万年以上前と言われる更新世層から発見され、現存する化石人骨では国内最古のものである。また、東陵中学校に隣接する忠興八幡神社は毎年十月になると祭を開催し、多くの子どもたちが太鼓や笛の奏者や踊り手として参加している。生徒たちが自分の住んでいる地域について知り、自分の思いをもって語るができるようになれば、地域を大切にし、自分たちの手で守っていこうという意識が生まれると考えた。

そのために、次の地域学習に関する活動と地域行事を関連づけた活動で、それぞれの目標を達成するために、実践計画として、ESDカレンダーを作成し、特に次の活動に力点を置いて実践している。

- (1) 伝統的な文化に触れる活動
 - ・ 全学年：校区内の神社「忠興八幡神社」に伝わる祭りの学習、祭りへの参加
牛川原人の歴史の学習、文化祭の体験活動
- (2) 環境を意識した地域の活動に積極的に参加する活動
 - ・ 1年生：朝倉川クリーン活動
 - ・ 全学年：勤労体験学習、小中合同「公園ごみゼロ活動」
- (3) 安全を意識した地域の活動に積極的に参加する活動
 - ・ 全学年：校区防災訓練（3年間のうち、1回は参加）、小中合同「あいさつ運動」
- (4) 行事等を関連づけた活動
 - ・ 1年生：福祉体験学習
 - ・ 2年生：職業体験学習、総合学習発表会
 - ・ 3年生：ふれあい体験（保育園実習～牛川東保育園）、「たかおか音楽祭」

《活動を進めるためのESDカレンダー》

地域の行事や小学校の行事と関連させ、下記のような年間の「ESDカレンダー」を作成して取り組んでいる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労体験学習 ・ 体育祭 					<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労体験学習 ・ 総合学習発表会 			
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会 					<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中合同「公園ごみゼロ活動」 ・ 小中合同「あいさつ運動」 ・ たかおか音楽祭 						
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校区球技大会 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 盆踊り 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 忠興八幡神社祭 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 校区体育祭 ・ 校区文化祭 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 校区防災訓練 			

(1) 伝統的な文化に触れる活動

【文化祭での体験講座
和太鼓】



(2) 環境を意識した地域の活動に積極的に参加する活動

【朝倉川クリーン活動】



(3) 安全を意識した地域の活動に積極的に参加する活動

【小中合同「あいさつ運動」】



(4) 行事等に関連づけた活動

【「たかおか音楽祭」
の校内発表会】



4. Type of materials to be used (使用する教材)

「中学校キャリア教育の手引き」

文部科学省 平成23年3月

「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」

文部科学省 平成22年1月

「キャリア教育ノート」夢を見つけ夢をかなえる航海ノート

愛知県教育委員会 (WEB版)

5. Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

生徒の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- ・生徒の様々な活動への取り組みの成果を事後のまとめや感想、発表から把握する。
- ・学習や活動のまとめとして授業参観や文化祭での展示、行事等での成果の発表、意欲や態度を観察し評価する。

上記の評価と共に、さらに下記のことを実施して、E S D活動のさらなる充実を図る。

- ・行事後の「アンケート」や年度末の学校評価により、「地域学習の有効性」、「地域への誇りと愛着についての意識変化」等の項目について尋ねるアンケートを保護者、生徒、教職員を対象に実施する。また、その結果を学校評議員の方に伝えアドバイスをいただく機会を年2回設ける。
- ・生徒の実態や地域の特色にそったカリキュラムになるように、今年度の実践を基に、E S Dカレンダーをも直し、地域学習に関する具体的な活動内容の改善を図る。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

22 / 11 / 2013

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) Principal

Institution's name (学校名)

Toryo junior high school